

すまい方を工夫する

人にたとえると・・・健康管理

容易にできる日頃の備えで“減災”へ

阪神・淡路大震災では、住宅そのものの被害が少なかった住宅においても、家具や家電製品が転倒・散乱してケガをしたり、避難経路や救出経路がふさがれたために避難や救助が遅れたことが報告されています。

すまいの耐震化をまずは身近なところからはじめてみましょう。

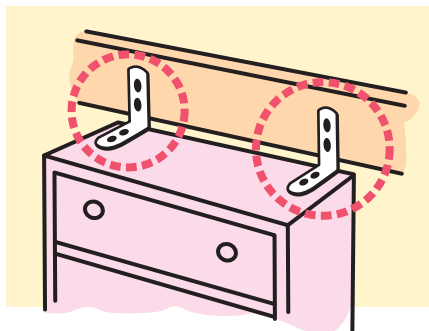


家具や家電製品を固定しましょう

補助制度あり

地震が起きたとき、家具が転倒しないように固定しましょう。また、万一転倒した場合でも、自分の安全と避難経路が確保できるように家具の配置を考えましょう。

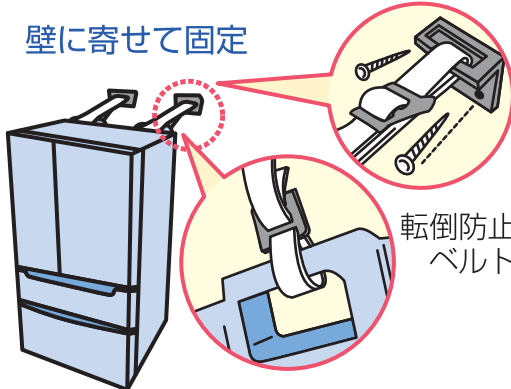
●金具で家具を固定します



L字金具で固定するのが、最も効果的です。

●ベルトなどで固定します

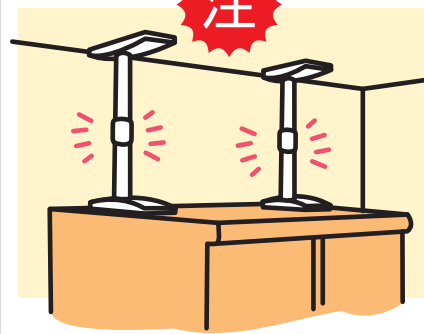
壁に寄せて固定



転倒防止ベルト

転倒防止用ベルトなどで固定します。

注

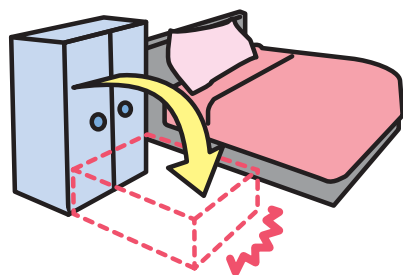


突っ張り棒での家具固定は天井がしっかりとっていて、家具とのすきまも小さくないと効果が期待できません

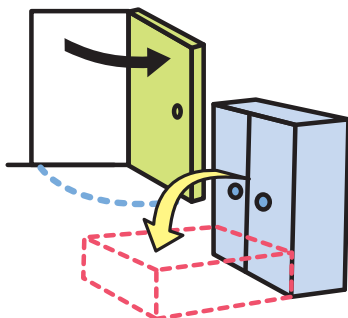
※下地が入っていない壁に固定するなど、誤った方法では効果が十分に得られません。
わからない場合は専門家に固定してもらいましょう。

家具の配置を考えましょう

家具が倒れてきても安全な場所で寝る



ドアの開く位置を考えて家具を置く



※このほか、次のような対策も必要です。

- ①家の中の物を整理し、家具の数を減らす。
- ②重い物・危険な物は家具の上に置かない。

Q. 家具の固定を誰に頼めばいいのかわかりません・・・

「神戸市すまいの耐震ネットワーク」(「すまいを丈夫にする」ページ参照)では、専門業者が家具の固定を行う、「家具固定あんしんホットライン」という有料サービスも行っていますのでご利用ください。

標準的な作業料金
3家具で15,000円

お問合せ

神戸市すまいの安心支援センター